

## 社会福祉施設等の耐災害性強化対策(耐震化対策、ブロック塀等対策、水害対策強化対策、非常用自家発電設備対策)【こども家庭庁・厚生労働省】

### 施策概要

社会福祉施設等の耐震化、ブロック塀等の改修、水害対策、非常用自家発電設備の整備を推進

### 効果

大規模災害による施設被害が防止され、人命を保護  
ライフライン機能が確保され、停電時においても施設機能を維持

## 全国的な対策と効果

### 対策 社会福祉施設等における耐震対策や水害対策等の実施

京都府舞鶴市  
障害者福祉施設



柱や梁の増築、基礎及び外観の補強等により、施設の耐久性が向上



長崎県佐世保市  
障害者支援施設



ブロック塀をフェンスに改修することにより、ブロック塀の倒壊による歩道の歩行者への被害を防止



埼玉県八潮市  
高齢者施設



2階に避難所を整備することにより、浸水時の垂直避難が可能



### 非常用自家発電設備の設置



停電時においても施設機能を維持

### ●社会福祉施設等とは？

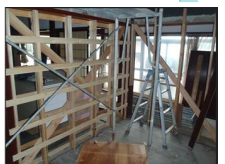
高齢者や児童、障害のある方々に福祉サービスを提供する施設・事業所。これらの方々が自立してその能力を発揮できるよう、必要な日常生活の支援などを行うことを目的としている。

### (主な施設)

高齢者施設、児童福祉施設、障害者支援施設、保育園、認定こども園 等

## 5か年加速化対策の効果

富山県砺波市  
障害者福祉施設



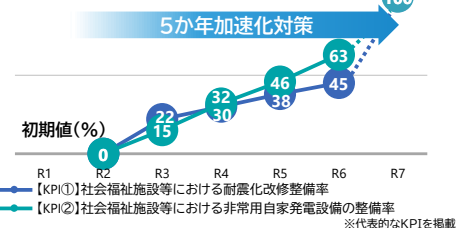
- 富山県の障害者福祉施設について、防災対策上必要な補強改修工事として、壁のない箇所へ新たに筋交いを設けて壁を設置
- 施設の耐震性が高まったことにより、令和6年能登半島地震において、大きな建物被害が生じず、被災後に施設を継続利用することができた。

## ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
90億円	197億円	197億円
R6	R7	累計
179億円	174億円	838億円

※ 予算額(国費)(加速化・深化分)は、対策番号23-(1)、23-(2)、23-(3)、23-(4)の合計額を記載  
※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

## ■ 目標達成の見通し



## 効果発揮事例

### 認定こども園の高台移転により、豪雨に伴う浸水被害を防止し児童・職員の安全を確保する



福岡県八女郡広川町



福岡県八女郡広川町



認定こども園の水害対策整備事業

## ■ 園舎の高台への移転



対策前



対策後

## ■ 事業費

3.5億円 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)3.5億円)

## ■ 事業の背景(地域の課題)

平成24年九州北部豪雨では園舎が床上浸水しました。その後、令和以降も2年連続で園舎前の県道が浸水により冠水し、施設が孤立する事態が生じていました。

## ■ 事業の内容

園児や職員の安全を確保するため、園舎の高台への移転を実施しました。  
※ 施設利用児童数 123人(令和7年8月時点)

## ■ 効果

令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨において、福岡県では1時間に110ミリ以上の猛烈な雨が降る等、県内全域的に浸水被害や道路損壊・埋没等の被害があり、広川町にも大雨警報(浸水害)や洪水警報が発令されました。以前の集中豪雨や台風では床上浸水が発生しましたが、高台への移転整備により移転先の施設で浸水被害はなく、園児や職員が安心・安全に過ごすことができました。

(1) 1  
人命・財産の被害最小化  
激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(2) 交通・ライフラインの維持

2  
インフラの老朽化対策

(1) 3  
施策のデジタル化  
国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 災害関連情報の高度化